



家畜保健衛生所だより



R7.12.24

京都府亀岡市で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)が発生 (国内9例目)

12月24日、京都府亀岡市の養鶏場で HPAI の疑似患畜が確認されました。

西日本で発生が相次いでいることに加え、
徳島県の野鳥で新たに HPAI が確認されるなど、ウイルスはすぐそこまで迫っています。

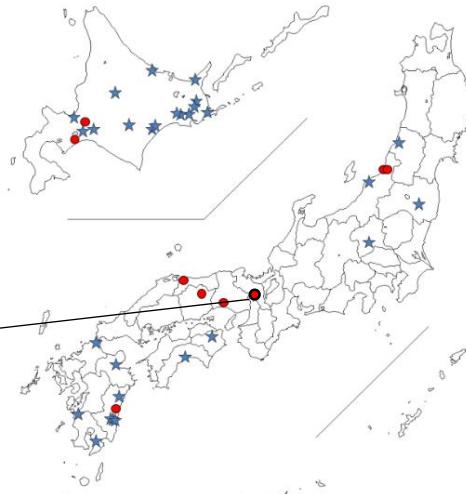
【発生概要】

9例目 京都府亀岡市

飼養羽数 約28万羽(採卵鶏)

12/23 農場からの通報を受け立入、簡易検査陽性

12/24 遺伝子検査の結果、疑似患畜と確認



● :家きん ★ :野鳥・環境試料
※陽性事例が確認された市町村をプロット

今シーズンの殺処分羽数は昨シーズンと同規模で推移しており、例年リスクの高まる1月に向け、より一層の警戒が必要です。

○早期発見・早期通報

- ✓ 発見・通報が遅れるとウイルス量が増大し、周辺農家に対するまん延リスクに。
- ✓ 大腸菌症経験農場や誘導換羽中については、これらによるものと即断せず、家保に早期通報を！

○飼養衛生管理の徹底

- ① 衛生管理区域に入場する者の例外なき手指の洗浄・消毒、衣服・長靴の交換
- ② 鶏舎入場時の手指洗浄・消毒、長靴の交換(裏口でも実施すること)
- ③ 防鳥ネットについて隅まで確認し、野鳥・野生動物が侵入できる隙間をなくすこと
- ④ 冬季の低温化でも十分な消毒能力のある消毒薬を適切な濃度で使用すること
 ➢凍結防止 ➢逆性せっけんにアルカリ剤添加 ➢消石灰はpHの低下に注意
- ⑤ 手袋は家きん舎毎に使い捨てとするか、家きん舎ごと専用の手袋を備え定期的に交換し、洗浄・消毒すること

中予家畜保健衛生所

TEL 089-990-1333

携帯 090-6282-6129 (夜間・休日)